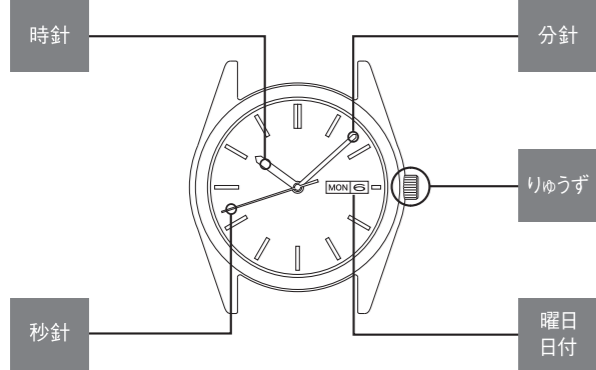


この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前のこの説明書をよく読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
 なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。  
 ※企業中心の調整は、お買い上げ店にて依頼ください。ご得意で修理などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご連絡ください。  
 ※お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。  
 ※お買い上げ時の電池は、機能や性能を確保するための電池(モーター電池)です。保証期間内でも電池交換は有料となります。  
 ※商品に傷防止用の保護シールははられている場合があります。必ずお着いておください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着してき発生の原因となります。

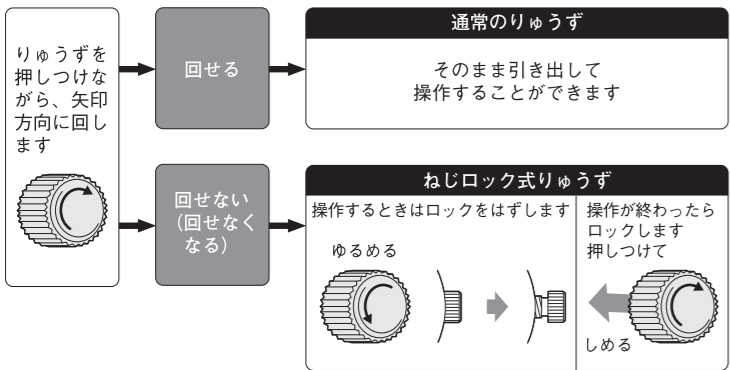
## ■各部の名称



※機種によって曜日・日付や秒針がないものもあります。  
 ※機種によってりゅうず位置やカレンダー位置が異なるものもあります。

## ■りゅうずについて

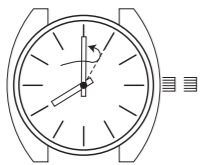
りゅうずには、通常のものと同ロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。  
 お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。  
 ※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

## ■2針時計のご使用方法

(時刻の合わせかた)

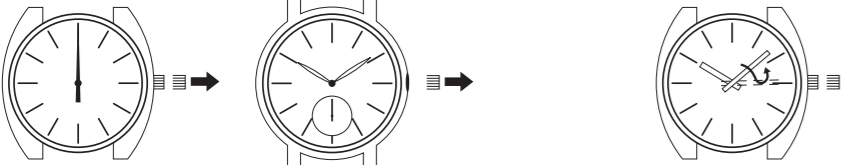


りゅうずを引き出し時刻を合わせます。

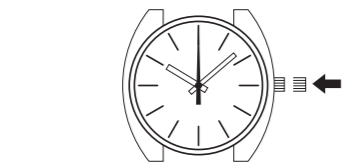
※ねじロック式りゅうずを使用するモデルは、すべての操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。→「1」りゅうずについて」をご参照ください。  
 ※クォーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには分針を正しい時刻より4〜5分進めてから逆にもどして合わせてください。  
 ※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

## ■3針・小秒針時計のご使用方法

(時刻の合わせかた)



1)りゅうずを引き出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。  
 2)りゅうずを回して時刻を合わせます。



3)時報と同時にりゅうずを押し込みます。  
 ※ねじロック式りゅうずを使用するモデルは、すべての操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。→「1」りゅうずについて」をご参照ください。

※午前・午後を間違えないように合わせてください。(日付は24時間に1度変わるように設計されています。)  
 ※クォーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには分針を正しい時刻より4〜5分進めてから逆にもどして合わせてください。  
 ※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

## ■3針・日付時計のご使用方法

(日付の合わせかた)



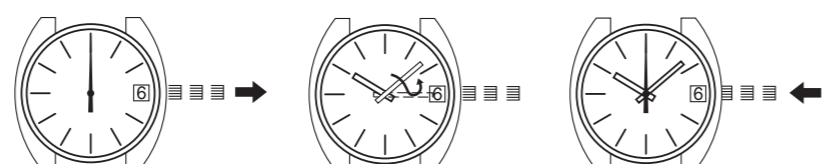
1)りゅうずを1段引き出します。※この時計のりゅうずは2段に引くことができます。  
 2)りゅうずを回して前の日の日付にセットします。



3)りゅうずを2段目まで引き出して今日の日付になるまで針を回します。  
 4)修正が済んだら、りゅうずを押し込んでください。

※午後9時〜午前1時までは日付を合わせないでください。  
 この時間帯に日付を合わせると、翌日になって日付が変わらないことがありますので、この時間帯に針を動かしてから日付を合わせてください。

(時刻の合わせかた)



1)りゅうずを2段目まで引き出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。  
 2)りゅうずを回して針を合わせます。  
 3)時報と同時にりゅうずを出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。  
 ※ねじロック式りゅうずを使用するモデルは、すべての操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。→「1」りゅうずについて」をご参照ください。

※月末の日付修正について  
 2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では、月末または翌月の1日に日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。

※午前・午後を間違えないように合わせてください。(日付は24時間に1度変わるように設計されています。)  
 ※クォーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには分針を正しい時刻より4〜5分進めてから逆にもどして合わせてください。  
 ※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

## ■3針・日付・曜日付時計のご使用方法

(日付・曜日の合わせかた)



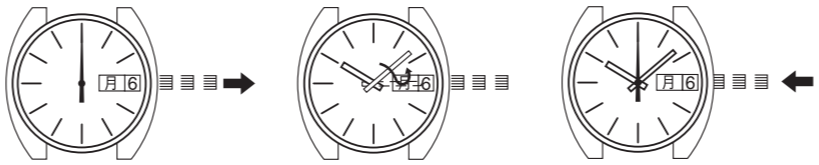
1)りゅうずを1段引き出します。※この時計のりゅうずは2段に引くことができます。  
 2)りゅうずを回して前の日の日付・曜日にセットします。  
 ※曜日は日本語・英語お好みの方に合わせてください。但しどちらか一方の場合もあります。



3)りゅうずを2段目まで引き出して今日の日付・曜日になるまで針を回します。  
 4)修正が済んだら、りゅうずを押し込んでください。

※午後9時〜午前4時までは日付・曜日を合わせないでください。  
 この時間帯に日付・曜日を合わせると、翌日になって日付・曜日が変わらないことがありますので、この時間以外に針を動かしてから日付・曜日を合わせてください。

(時刻の合わせかた)



1)りゅうずを2段目まで引き出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。  
 2)りゅうずを回して針を合わせます。  
 3)時報と同時にりゅうずを出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。  
 ※ねじロック式りゅうずを使用するモデルは、すべての操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。→「1」りゅうずについて」をご参照ください。

※月末の日付修正について  
 2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では、月末または翌月の1日に日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。

※午前・午後を間違えないように合わせてください。(日付は24時間に1度変わるように設計されています。)  
 ※クォーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには分針を正しい時刻より4〜5分進めてから逆にもどして合わせてください。  
 ※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

## ■使用電池・電池寿命・精度について

・機種により電池寿命と精度は異なります。  
 ・機種は裏ぶたの表記をご確認ください。

機種	使用電池 SB-	電池寿命	精度 (平均月差)
1E20	AB	約2年	±15秒
1F20	A5		
2E20	AC	約3年	±15秒
7N01※、7N82※、7N89	AG		
7N00	AF		
7N21※、7N32※、7N33※、7N35※、7N42※、7N43※	AN	約5年	±20秒
1N01、VX01、VC00、VC01、VC10、VC11	AC		
Y151	A6	約2年	±20秒
Y520	AR		
YL50	AB		±20秒
Y150	A5		
1N00、VX00	AR	約3年	±20秒
6G28、VD78	AW		
V220、VB20	AC		
VX32、VX33、VX3K、VX42、VX43	AN	約3年	±30秒
7N83、V701、V782、VX51、VX82、VX83、VX89、VJ12、VJ20、VJ21、VJ22、VJ23、VJ32、VJ33、VJ42、VJ43、VJ46、VJ47、VJ48、VJ52、VJ76	AG		
V501、Y121、Y136	AW	約4年	±30秒
VX50	AF		
V721、V732、V733、V742、V743	AN	約5年	±30秒
V811	AE	約2年	

※精度は常温(5℃〜35℃)において腕につけた場合のものです。  
 ※右側に※印のある機種の秒針が2秒おきに動くのは、間もた電池が切れる合図です。

## ■使用上の注意とお手入れについて

⚠警告

- ・次のような場合、ご使用を中止してください。
  - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
  - バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
- ・電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。
- ・この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバースウオッチをご使用ください。

⚠注意

- ・以下の場所での携帯・保管は避けてください。
  - 揮発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
  - 5℃〜35℃から外れる温度に長期間なるところ
  - 高湿度なところ
  - 磁気や静電気の影響があるところ
  - ホコリの多いところ
  - 強い振動のあるところ
- ※電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。
- ・アレルギーやかぶれを起こした場合はただちに時計の使用をやめ、皮膚科

- など専門医にご相談ください。
- ・直接蛇口から水をかけることは避けてください。水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。
- ・水分のついたまま、りゅうずボタンを操作しないでください。時計内部に水分が入ることがあります。
- ※万が一、ガラス内面にもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
- お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。防水時計でもガラスの接合部・バックルの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。
- ・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
- ・その他ご注意
  - 商品の分解・改造はしないでください。
  - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
  - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
  - 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
- 衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

- 皮革バンド
  - ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
  - ・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
  - ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
  - ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
  - ・時計本体が日常生活用強化防水10(20)気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。
- ポリウレタンバンド
  - ・色で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
  - ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
  - ・汚れたら水で洗い、乾いたら布でよくふき取ってください。
  - (時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
  - ・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。
- かぶれやアレルギーについて
  - バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
  - バンドサイズのめやすについて
    - バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。
    - 時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

## ■ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合  
 ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3時間〜5時間)発光します。光が当たらなくなってから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。  
 なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。  
 ※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐにには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)  
 ※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

環境		明るさ(照度)のめやす
太陽光	晴れ	100,000ルクス
	くもり	10,000ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000ルクス以上
	くもり	1,000〜3,000ルクス
	雨	1,000ルクス以下
照明(白色蛍光灯40Wの下で)	1m	1,000ルクス
	3m	500ルクス(通常室内レベル)
	4m	250ルクス

## ■アフターサービスについて

- 保証と修理について
  - ・修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
  - ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。保証内容は保証書に記載したとおりです。
  - ・保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
  - ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。
- 補修用性能部品について
  - ・この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
  - ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがあります。また、ケースやバンドの一式交換や、修理が困難な場合は同等品との交換になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について
  - ・長くご愛用いただくために、3年〜4年に1度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またバックシンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の侵入などで防水性能が損なわれる場合があります。
  - 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、バックシンやね棒の交換もあわせてご依頼ください。
  - ・点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。